

# 金剛寶戒寺便り

<http://www.toudokai.jp>

平成三十年八月一日発行 第五十三号

檀信徒の皆さま、こんにちは。西日本を中心に7月6日から豪雨が降り続きました。被災された皆様方にお見舞い申し上げます。1日も早い復旧をお祈りいたします。

当山 金剛宝戒寺は神亀4年(727)に聖武天皇の勅願を行基菩薩が奉じて創建されたお寺です。当初は大分郡荏隈郷五丁津留(今の豊府高校近く)に建立され、寺域3万坪を有したとも伝えられています。その後、律令制度の衰退や時代の動乱で災禍したため、徳治2年(1307)西大寺の幸尊律師を招き中興の祖として現在の上野丘に当山は再建されました。

その再建の象徴として鎌倉時代後期の文保2年(1318)に興福寺の仏師康俊により金剛宝戒寺のご本尊となる大日如来が建立されました。

そして戦国時代の受難や江戸時代の再興を経て明治初頭には西大寺系列の真言律宗から高野山真言宗に転派しました。その後も2度にわたる世界大戦などが有り、紆余曲折があったと思われませんが現在に至っております。

創建当時の寺容には及ばないまでも、豊後最古の寺院としての自負を持ち続け、歴代の住職が常に救済済度に腐心してきたことは言うまでもありません。また、その様子を常に

見守り続けて下さったのが法身、大日如来さまです。

本年は、有難いことに御本尊大日如来さまが建立されて700年という節目に当たります。この勝縁を皆様と共に喜び祝い、法要を行いたく思っております。稚児行列も出しますので、ぜひ子供さんやお孫さんにもお声かけの上、ご参列ください。この度の法要は次の百年へ向け、大分青年教師会の僧侶に出仕をお願いしています。ご期待ください！

十一月三日(土曜日)

午後一時四十五分より稚児行列

金剛宝戒寺 大日堂に於いて

大日如来建立七〇〇年記念法要

話は変わりますが、8月は盆月の為に毎月8日に行っている月例の講習会は有りません。例年通り、お大師様の縁日である二十一日に千巻心経と供養盆踊りを行います。

八月二十一日(火曜日)

金剛宝戒寺 本堂に於いて

午後五時より 千巻心経(お数珠繰り)

金剛宝戒寺 境内に於いて

午後七時より供養盆踊り

月参りなどでも般若心経をお唱えする方が増え嬉しく思っております。お唱えが出来る方も出来ない方も念珠の輪に加わることに功德があります。初盆のお家の方はもちろん、病気や悩み事を抱えている方もお参り下さい。

その後には予定されている、供養盆踊りは年々参加者が増えていきます。子供さん達にはお菓子やクジ引き抽選なども用意していますので奮ってご参加ください。

九月八日(土曜日) 午後二時より

金剛宝戒寺 本堂において

演題 「医師としての学び」

〜病みつつ尚生きるには〜

講師 坪山 明寛先生(清川診療所 所長)

坪山先生のモットーは「患者さんに一日一回は笑ってもらおう事に勤める」「患者さん一人のかけがえない人として診療する」です。患者さんとのやり取りの中で学んだこと、感じたことをお話いただきます。こころ温まるお話を聞きに来てください。

今年の春先に本堂にエアコンを2台設置致しました。足腰の悪い方も多いので、椅子も50脚ほど用意しております。月例の講習会や8月の千巻心経に一人でも多くの方の参りをお待ちしております。

お盆の棚経は3人のお坊さんにご加勢をお願いしてお参りを行っております。皆さんとも顔なじみになっていいると思えますが、うだる様な暑さの中、きつそうな顔ひとつせずにご協力いただき感謝です。

室内でも熱中症や脱水症状になります。こまめな水分補給とエアコンなどを利用し適度な室温設定で自愛下さい。

合掌